

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る 平成 29 年度 取組計画（案）

「基本推進計画」全体スケジュールにおける「スタート・ダッシュ期」の最終年にあたる平成 29 年度においては、大会マスコットキャラクターの決定や、大会専用ホームページの開設が行われることから、こうした広報活動との連携を図りつつ、以下の取組を進める。

1 個人

引き続き寄附受付の手段を拡大するとともに、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、子どもからシニア世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

(1) 街頭やイベント会場での募金活動の実施

平成29年度に新たに決定する大会マスコットキャラクターを使用した広報グッズ等を活用し、県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施

(2) クラウドファンディング導入の検討

平成29年度に開催準備委員会で実施する大会の広報活動のうち、目的や成果物が明確な事業を対象（新マスコットキャラクター着ぐるみ製作費等）としてクラウドファンディングの導入を検討

(3) 募金箱の設置箇所の拡大

スポーツ施設の他、文化施設や民間施設への設置協力を依頼

(4) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施拡大

(5) 学校との連携

県内の学校等との連携協力により、若い世代の発想を活かした寄附募集の機運を醸成

➤ 募金箱デザインコンテストの実施

昨年度に引き続き、県内の小中学校等に、募金箱に貼付するステッカーのデザイン募集を行い、優秀作品を県内各所に設置する募金箱に貼付のうえ活用

2 企業・団体

直接訪問による依頼を強化するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、多様な手法を積極的に提示する。

(1) 直接訪問による依頼とニーズの収集

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼するとともに、ニーズを収集して、寄附者にメリットのあるメニューを検討・提示

- 寄附者のニーズを踏まえた広報グッズを作成し、グッズを活用した働きかけを促進
- (2) 滋賀県人会への働きかけ
 - 国内各地の滋賀県人会の協力を得て、大会の開催を周知するとともに、ふるさと滋賀での大会開催に向けた寄附を依頼
- (3) 国体・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼の強化
 - 各種団体の例会・総会等の機会を捉え、会員企業に対し大会の開催と寄附募集活動を周知
- (4) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税制度）の導入準備
 - 県外企業による寄附の税制面におけるメリットが拡大する「地方創生応援税制」の事業認定に向けた準備